

東っ子だより 7月号

令和6年7月3日 校長 大淵 裕三子



小中 一貫 教育

めざす
児童生徒像

クリエイティブ：知識、考え方、行い方を創り出す子ども
コミュニケーション：他者を思いやり、伝え合い高め合う子ども
チャレンジ：たくましい自分づくりに挑戦する子ども

日の里カリキュラムの様々な学習

運動会が終わった6月、学校ではアジサイの花が一斉に花開くように、それぞれの学年でふるさと学習が行われました。地域の方々との活動(2年まちたんけん、3年地域の宝はっけん、4年花いっぱい運動、5年高齢者との交流、6年日の里盛り上げ隊)などです。

子供たちはいきいきと取り組み、地域の「ひと・もの・こと」に感謝して、これからもかわっていききたい、様々なイベントに参加してみたいという思いをもちました。また、日の里コミュニティ会長の古後様より、駅前笑顔いっぱいプロジェクトを行った4年生への表彰状を頂きました。子供達は大いに達成感を味わうことができました。

ふるさと学習にかかわってくださっている皆様、地域学校連携推進委員の皆様、いつも本当にありがとうございます。



駅前を笑顔いっぱいにするために頑張り、表彰された4年生



地域の行事を教えてくださいました地域の方へ感謝の気持ちを込めて歌う3年生



自分で考え行動するために、メタ認知（自分を客観的に見る力）を育てていきましょう

人は成長していく中で、メタ認知を高めていきます。具体的にいうと、もう一人の自分がいるかのように、自分の長所や短所、行動を客観的に見つめることができるようになっていく事を指します。この力が高まっていくことで自分の感情をコントロールしたり、行動を振り返ったりすることができるようになります。

この力が弱いと、自己主張に負けてしまいがちになり、相手意識が薄れ、不満ばかりを強く感じやすくなります。一般的に言う「キレやすい」という状況です。決して本人にとっても幸せではありませんので、できれば成長する過程で自分をコントロールする力を育てあげたいと思っています。でも学校だけではその願いは叶いません。連携が必要です。

「自分の言動をどう思った？」

「相手の人や周りの人はどう感じたと思う？」

「次はどうすればいい？」「次もがんばれるといいね」

善い行いをした時も悪い行いをした時も、振り返りはとても大切です。学校でも家庭でも地域でも、周りの大人が同じように働きかけていくことで、子供達は少しずつ、でも着実に成長していきます。

夏休みに入っすぐ三者面談があります。ここでも自分自身を見つめるよい機会となるよう、頑張った部分は大いにほめて、夏休みや2学期に頑張ることを決める時間になれば幸いです。(昨年同様、1学期の三者面談は、タブレットを用いず、口頭による説明・懇談です。)

《7・8月のおもな行事》

- 7月 3日(水) 1日大学生体験・福岡教育大学見学(6年)
- 4日(木) お日さま文庫読み聞かせ(1~4年)、ハッピークローバー相談会(昼休み)
- 5日(金) 水泳学習12校時(1年)、34校時(3年)、社会科見学(6年)
- 10日(水) 学校の日(公開:1~4校時)、救急講習会(11:00~体育館)、ひのたんタイム(丸つけボラ)
- 12日(金) クラブ活動(4~6年) 15日(月) 海の日(祝日)
- 17日(水) 水泳学習12校時(1年)
- 18日(木) 交通教室2校時(1年)、自転車教室34校時(4年) 給食終了・大掃除
- 19日(金) 一学期終業式
- 22日(月)~25日(木) 三者面談
- 30日(火)~8月2日(金) 夏休み水泳教室(イトマン宗像校 PTA 保健水泳)
- 8月 27日(火) 二学期始業式 28日(火) 給食開始

